

2023年TMOアドバンス講座

ワクワクして
情報セキュリティ対策をしよう
“みんなの会”へご招待

2023年7月8日
小谷野正博

私のプロフィール

- 小谷野正博(こやのまさひろ)
- 東京生まれ、市川市在住10年
- 現役時代はコンピュータメーカーのネットワークSE
- 退職後プロジェクトマネジメントや情報セキュリティを学び直す#
- 個人事業でその教育活動に携わってきた。

情報処理安全確保支援士(登録セキスペ)、
米国PMI認定PMP、情報処理技術者(PM,ST,SG)



情報セキュリティみんなの会の立ち上げ

- 目指すところ

市民が安全・快適にインターネットを利用するために**自ら情報セキュリティを実践する**よう支援するボランティア会の立ち上げ

- ボランティア会員へご招待

身近な市民に情報セキュリティ実践を広めたいと思う方

- 活動内容

- ✓ 会員の研究会 ワクワクする仕掛けづくり
- ✓ 市民への支援活動 講習会、ワークショップの開催
- ✓ その他のベネフィット 活動内容に応じたデジタル地域通貨『ICHICO』やエコポイントをゲット(**構想中**)

毎日のようにセキュリティ警告情報が

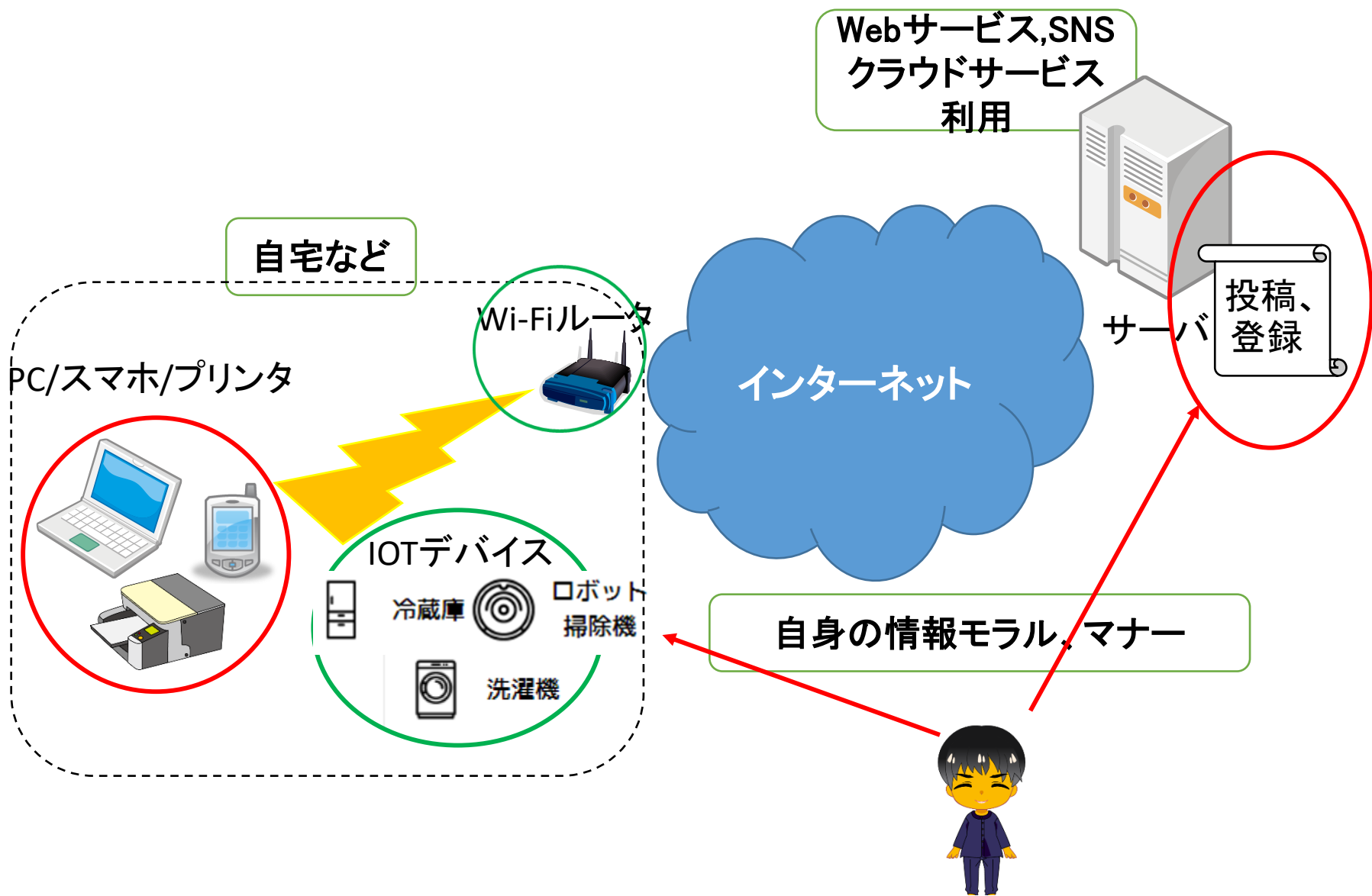
読賣新聞オンラインから

- **窃取ウイルス被害 再拡大 (2023/3/26)**
…メールを通じて感染し、コンピューター内の情報を盗み出すウイルス「エモテット」の被害が今月上旬から再拡大している。

- **サイバー攻撃を受けた大阪の病院、パスワード使い回し (2023/3/29)**
…大阪急性期・総合医療センターがサイバー攻撃を受けた問題で、…センターでは電子カルテシステムに接続するためのものと同じパスワードが別のシステムでも使い回され、サイバー攻撃に対して脆弱ぜいじやくな状態だったと指摘。

- **ルーター悪用の事件多発、サイバー攻撃の踏み台に (2023/3/30)**
…大手メーカーや通信関連企業などを標的とした不正アクセス事件の通信記録を調べた結果、一般家庭のルーターがサイバー攻撃の「踏み台」として使われていたケースが複数確認された。

個人が関与できるセキュリティ対策は



IPA 情報セキュリティ 10大脅威2023(個人)

1. フィッシングによる個人情報等の詐取
2. ネット上の誹謗・中傷・デマ
3. メールやSMS等を使った脅迫・詐欺の手口による金銭要求
4. クレジットカード情報の不正利用
5. スマホ決済の不正利用
6. 不正アプリによるスマートフォン利用者への被害
7. 偽警告によるインターネット詐欺
8. インターネット上のサービスからの個人情報の窃取
9. インターネット上のサービスへの不正ログイン
10. ワンクリック請求等の不正請求による金銭被害

被害に遭わないために対策をしましょう



- 対策の啓発はこんな感じの脅しが多い

情報セキュリティ対策は、
“被害の脅威があるから対策を”の観点からで、
誰もが相応の対策を実施するのか。

こんなこと思っていないませんか…

セキュリティ対策の重要性はテレビや新聞で、被害状況がよく出てるから分かっている。

しかし自分はセキュリティ攻撃に遭わないだろう。会社でも団体でもないので、重要な情報なんかは無いよ。

- モラルの問題であったり、注意すれば済むことなら実践するよ。意識の持ちようで済むから。
- だけど、あれこれ確認したり、設定変更するのは面倒くさい。

情報モラル、マナーの重要性再確認

- ▶ インターネットを利用する上で、情報モラル、マナーの教育・研修は絶対必要



日常における情報セキュリティ対策

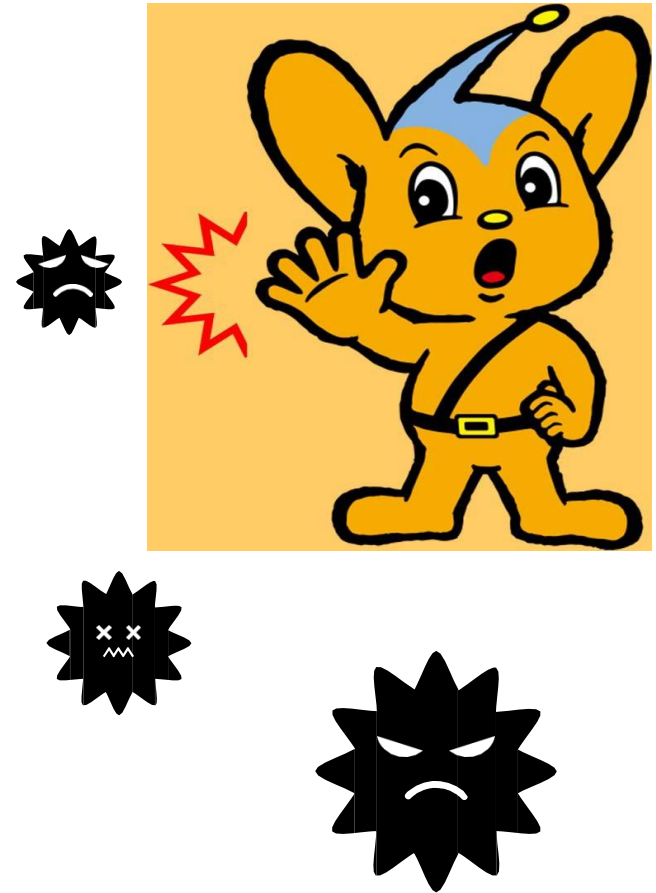
2022年4月20日(個人編)

1. 修正プログラムの適用
2. セキュリティソフトの導入および定義ファイルの最新化
3. 定期的なバックアップの実施
4. パスワードの適切な設定と管理
5. メールやSMS、SNSの不審なファイルやURLに注意
6. 偽のセキュリティ警告に注意
7. スマートデバイスのアプリや権限導入時の注意
8. スマートフォン等の画面ロック機能の設定
9. 他人に見られたら困るプライベートな写真や動画は撮らない、第三者に送らない

モラル・マナー教育で
セキュリティ向上

家庭用ルーターのセキュリティ対策

- ルーターの管理画面パスワードが初期設定のままになっていませんか？
- 最新のファームウェアにアップデートされていますか？
- サポートが切れたルーターを使用していないですか？
- **見覚えのない設定変更がなされていないですか？**



確認・設定変更の重要性再確認

- ここまですないと、セキュリティ対策を実施したとは言えない。しかし、対策を実施するのに壁がある。



日常における情報セキュリティ対策

2022年4月20日(個人編)

1. 修正プログラムの適用
2. セキュリティソフトの導入および定義ファイルの最新化
3. 定期的なバックアップの実施
4. パスワードの適切な設定と管理
5. メールやSMS、SNSの不審なファイルやURLに注意
6. 偽のセキュリティ警告に注意
7. スマートデバイスのアプリや権限導入時の注意
8. スマートフォン等の画面ロック機能の設定
9. 他人に見られたら困るプライベートな写真や動画は撮らない、第三者に送らない

確認・設定変更など
積極的に操作が必要

有益な示唆

引用 DOJIN選書「サイバーリスクの脅威に備える」 松浦幹太 著 P162

ユーザによる感謝とリスペクト

サイバーセキュリティ全般の課題として、安全のために取り組むことがコストや負担と見なされがちで、積極的に取り組ませる動機付けが難しいという課題があります。

省略

インシデントが報道された結果、問題の企業の株価が下がったり消費者が離れたりしてダメージを与えられた、という例は数多くあります。大変重い事実ですが、ネガティブなストーリーとしいえます。

しかし、動機付け支援を真に根付かせるためには、ポジティブなストーリーを生む感謝とリスペクトも必要です。

この感謝とリスペクトは、実は、企業だけでなく、個人に対しても向けられるべきものです。しかも、倫理や道德の観点だけでなく、利害得失の観点でもサポートされる考え方です。

省略

サイバーセキュリティに積極的に組めば感謝されリスペクトされるという認識を確立し広めることが、強く望まれます。

セキュリティ意識の変容

ネガティブなストーリー

被害に遭うと金銭的・社会的ダメージを受ける

⇒ セキュリティ対策をする

⇒ 対策はコストや負担となるが仕方ない



ポジティブなストーリー

被害に遭うと金銭的・社会的ダメージを受ける

⇒ セキュリティ対策をする

⇒ { 感謝とリスペクトされる
利得ある
ワクワク感がある

基本的な「脅威」対策の教育に

+ α

+ α とはどんなもの？

例えば、

- ✓ 自分のデバイスで実践し、成果を発表 ⇒ 学習が実ったという**喜び感**
- ✓ インターネットを安心して利用する習慣「STOP. THINK. CONNECT」をゲームを通して学ぶ ⇒ おもしろいという**ワクワク感**
- ✓ PCの高速化の実現と同時にバックアップの実現や脆弱アプリの追放 ⇒ 利便性があるという**意外感**
- ✓ 参加者の活動成果を評価し、地域通貨ICHICOポイントゲット ⇒ 活動が地域通貨になるという**お得感(ベネフィット)**
- ✓ 個人事業、小規模事業の**Security Action**マーク(IPA)の取得 ⇒ 社会貢献したという**お得感(ベネフィット)**

情報セキュリティみんなの会へご招待

- 目指すところ
 - ✓ 市民が安全・快適にインターネットを利用するために自ら情報セキュリティを実践するよう支援する
 - ✓ 市川市内のサイバー空間を健全ものにする
- ボランティア会員へご招待
 - ✓ 身近な市民に情報セキュリティ実践を広めたいと思う方
 - ✓ 情報セキュリティを深めたいと思う方
- セキュリティ実践トライアル
 - ✓ 7/29(土)15:00～ 約1.5時間のトライアル
詳細は後日webでお知らせ

ご清聴ありがとうございました。